（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年五月三十一日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万四千八十二號　（一）

臺灣昌新報 夕刊 五月三十日
夕刊定價一部一錢
編輯兼發行人 佐々木 榮
臺北市榮町四丁目廿四番地 臺灣日日新報社
發行所 電話 日日新報（電話第一八五五）西部支局（電話第七七〇番）中部支局（電話第一〇〇番）南部支局（電話第二〇〇番）
花蓮港街入船町 大阪支局
ユタカビルデング内 東京支局
（電話 五局 一〇〇番）

英米佛の弄策を排し 堂々所信に邁進 漸次有利

コロンス、租界問題 我方に

【廈門二十日發本社特電】鼓浪嶼問題は愈と緩和せつゝデリケートな動きを見せつゝあるが現狀を綜合して見れば左の通りである、日英米佛四國間最高指揮官會談（鼓浪嶼問題）は例外の硬軟を集めた二十一日に會談の幕が切つて落されたが、二十三日の第二回、廿五日の第三回會談をもつて一應休止されると云つた、會期は英米佛等共同撤退主張と我方の英米佛撤退後獨自の見解で適當の時機に撤退すると云ふ主張が中心議題となつて交渉された模様であるが緊急萬已むを得ぬ事態發生に依り獨自の見解自衛權を發動した我方をおつき合ひに撤退させようとする三國特にこのイニシャチーブをとる英國の造り方には何時もながら不愉快千萬であるが我が主張は斯かる事に依り毫も動搖するものでなく場合に依つて長期駐兵も又已むを得ずその決意の下に三國の反省を求めて居る模様である、尚鼓浪嶼問題解決への最高交渉機關として中央交渉以上の權能を有するものと見られこの點に關る重要性を有して居る

我方に邁進

我が方の正義の行動は日一日と列國の認識する所となり事態は漸時有利に展開しつゝあり要求の貫徹は至難でないと見られるに至つた、現地外交交涉（工部局改組問題）交涉の中心を爲すものは英米佛等共同撤退主張と我方の英米佛撤退後獨自の見解で適當の時機に撤退すると云ふ主張が中心議題となつて交涉された模様であるが緊急萬已むを得ぬ事態發生に依り獨自の見解自衛權を發動した我方をおつき合ひに撤退させようとする三國特にこのイニシャチーブをとる英國の造り方には何時もながら不愉快千萬であるが我が主張は斯かる事に依り毫も動搖するものでなく場合に依つて長期駐兵も又已むを得ずその決意の下に三國の反省を求めて居る模様である、尚鼓浪嶼問題解決への最高交涉機關として中央交涉以上の權能を有するものと見られこの點に關る重要性を有して居る

安南國皇帝 フランスへ

【東京二十八日發同盟】西貢來電によれば安南國皇帝は二十八日エール・フランス旅客機で西貢出發フランス訪問の途に上られた

實相を直視して 日本に信頼せよ

興亞院廈門連絡部發表

【廈門二十日發本社支局特電】我が鼓浪嶼、大鼓間航行遮斷に關して興亞院廈門連絡部當局は次の如き談話を發表した

帝國政府に於いては大陸との交通を嚴重監視するの建前でたるに對しその眞意を解せず巷間種々の臆測を恣にするものあるは遺憾とする所なり、帝國が過去一歳に亘りて廈門一帶の地を眞に南支に於ける樂土らしむべく凡ゆる努力と協力とを拂ひ來りし事は廈門、鼓浪嶼民衆の能く自覺知悉する所なり、由來鼓浪嶼は廈門市の一部として治安の維持に重要の關係に在り不可分の關係にあり、從つて從來共同租界の眼に隱れて鼓浪嶼を第三國の策源地化し、その治安を紊すが如きことあるのみならず、特に我が廈門守備に當する後方連絡の基地たらしむるの危險性甚々大きく、帝國當局はこれに鑑みる所あり、今般大陸との交通を原則として遮斷したるがこれ一に不逞分子及び支那官憲等の鼓浪嶼侵入を防止し眞に廈門一帶をして復興建設の大衆を安心たらしめんとするに外ならず、この結果大陸との物資交通に不便を招來する事特に鼓浪嶼民の不便を招來する事なきやを憂慮するの所なれどもこれは固より已むを得ざる所な

討伐戰で華と散つた
山田部隊長以下の勇士
漢口で壯嚴な慰靈祭

【漢口二十九日發同盟】武漢攻略後十月二十日までの間に、安徽、贛北地區各作戰及び各地の討伐戰で護國の鬼と化した山田部隊長以下二〇〇部隊の英靈に對する〇〇部隊合同慰靈祭は二十日午前十時半から漢口中山公園競技場において在漢各部隊代表者多數參列の下に嚴肅に執行された

大隊長以下幹部八名の
抗日テロ團を檢擧
わが上海憲兵隊の殊動

【上海二十九日發同盟】わが上海憲兵隊は暨て上海フランス租界八仙橋に本拠を有する中國抗日第一大隊の組織あるを探知し內偵中のところ二十五日大隊長以下幹部八名が虹口地區に潛入せんとするを發見これを一網打盡に檢擧した同團は蔣政府直轄の部隊で日本軍と數次に亘り交戰した記錄を持つてゐるが就中五相界內に根城を設け抗日テロに策動してゐたもので

地方狀況を
奏上の光榮に浴し
松岡臺中州知事が歸る
けふ入港の高千穗丸で

【基隆電話】既報高千穗丸は二十日午前十時基隆埠頭に着いた船客は松岡臺中州知事、外山臺北州知事、連水鐵道部工作課長、荒井高砂香料專務等の諸氏であつた　松岡知事談　地方長官會議列席のため上京した、二日天皇陛下に地方狀況を奏上申上げたが　陛下におかせられては終始御熱心に御聽取遊ばされ殊に臺灣の發展に對し深き御關心を拂はせられ又地方の實情に就ては御熱心の御質疑を拜し恐懼感激して御前を退下した、尙青年訓練の御施設には特に御關心を遊ばされ一度の光榮に浴し感泣した次第である、會議に參列して熱心に審議された、その後北海道中部地方、九州の視察殿、工業地帶の狀況、僞滿國人の職業の問題に關する狀況等を視察した次第である、會議に參列して熱心に審議された、その後北海道中部地方、九州の視察殿、工業地帶の狀況、僞滿國人の職業の問題に關する狀況等を視察した次第である

南署管內のチフス
非常な激增を示す

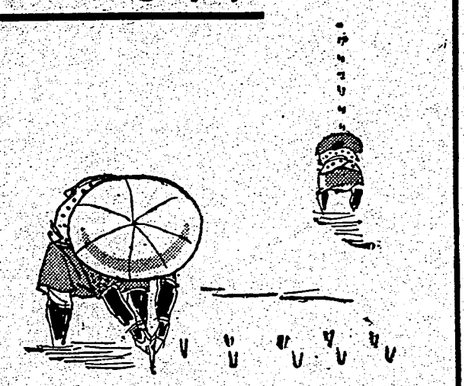
南署管內のチフス罹病者發生數は最近非常な激增を示し二月九名、四月六名に比して五月は二十九日現在で十七名のチフス患者の發生數を見てをり、殊に十八、二十九の兩日は共に一日三名と云ふ發病數の激增で今後益々增加の傾向が見るので同署衛生當局では一般市民の注意を喚起すると共に各家庭に於て腸チフス豫防注射を勸めて受けられたいとの希望を述べてゐる

燈臺とリンタウを
配した鷲鑾鼻切手
愈よ一日から全島で一齊に發賣

既報の鷲鑾鼻切手は愈よ二十日臺北郵便局を始め各地の郵便局に於て發賣されるが、二日著荷が遲れるかも知れない、兎に角切手ファンは當日の事物を參考とした寫眞切手が今回始めて入手することが出來るわけである、尙切手は各地方の局へは或は二、三

働く暇も惜しく姿いき衝る入き婦人病

腰痛・腰倦がなくなる



其日々々を追れ乍ら一日一回夜の手當で

治したい家庭

働いて働いて目には見えなくとも若き女に追はれる家庭、眠るめも眠りでない、育ち盛りの殿人か子を持つては、最非とも設備出來ない世の婦病で一ぱいの種が治療費の問題です。

婦氣を要ないで

かかれば容易は

婦氣・婦人病

その一つが白帶下婦人病です。これを良い治さなければ大變です。目も廻る台所の仕事や働き盛、一家の一人が若い治療と費用を惜はれて働らんなさい取扱し出來ない電話はせが自に見えてゐます。

る手輕るな療法

所がお腹できに婦人病で手も足も縛られその上治療費で苦勞の絶えない昔の樣な惱みがなく「醫者から退はれながら治療がこと手輕るに出來るのは有難い事です。

夜の一時で出來る

早く治療が出來て治療費も僅かで済めば醫らく一家では何よりも助かることでございまして、現在帝國大學病院始め各國有名病院で使用の新子宮腟ワセトン球は、一家々師の自宅を訪ま僅かの二時があれば素人でも治療充分出來るのでございます。

一日一回で效目の

新しい子宮療法

ワセトン球は服み藥ではありません、膣間の醫きを終へてゆつくり身に休業を與へる時刻に一日一回使用すればよい簡單な子宮藥でして、人によつては一日に一回使用で效目充分なほどよくよく手輕るでありません。

朝までに溶んで

ねるから重寶

それに本部は　具合よく治療出來るやう治療性でありまして、その上本部吸收性藥であるので一錠經てば藥を殘さず何等かさばさばとした上で翌朝までに治療を完分遂する事が出來、こまやから重寶これよりございません。

白帶下はさつぱりし

痛みや氣分が晴れる

腐作物を殺菌しまして内部の消毒がよく深い所に屆き膣下がさつぱりとして逆上を引き下げふさいだ重い氣分も晴れるのですし偏や紫斑の子宮出血に第一等でして、腰痛、下腹の痛み腰腹の引張りからくになる效目など數く時間を待たずさらくになれます。

働いてゐてされる

重寶

頭重眼痛めまひ、耳鳴りや肩の凝りや腰いてゐて時々感ずる治療の頭痛や安眠が續續で、この重寶な藥で其日々々を過はれる婦人でも治療一番安心して出來ます。

閨閥

お小遣ひの點で求められるワセトン球の委價です。六球七十錢、十二球一圓廿錢、廿四球二圓卅錢、卅六球二圓四十錢、病院醫院一四四球十二圓も素人で使へますからお分けします。

南國

はハガキで「何球送れ」と出せば代金引換で發送十五錢見本（何れでも目田）

東京市芝區通新町十三番地
株式會社 河原商店
振替東京三〇二九番
三田一六八五・六三〇五番

閨

今日有名な藥店デパートに「ワセトン球」と並んで「ワセトン球」と並ぬよう帝大醫學部門ワセトン球と混同し方二回訂れた前記統代理店へ直接御註文が安です。

閨閥

ワセトン球の治療法をかいた木村二醫學士著の「女性の新生理學」御申込次第進呈す

一日はたらいて からで治せるお藥

大阪市浦北本通り　椿　まさ子

今日は一日の仕事も樂しく仕上げられる樣になりました。これもお藥のお蔭です。でも早く氣がつきましたので僅かの日にて全快いたしましたのを何よりの幸福と思つてをります。茲に有難く〳〵お禮申上ます。

前文御免下さい。先日は御親切なるお手紙と共にお藥お送り下され有難く〳〵お禮申上げます。早速使用しましてこしけも少くなり段々氣分もよくなり今日ではすつかり全快したと云つてもよい位です。お蔭で永の惱みも忘れは一トン球使用せよとの事で取寄局で十二球を買ひ使用致しました所大變合よく月經前後の痛みも無くなりましたのでお手數ですが番外のワセトン球をお送り願ひます。お禮旁々お願ひ申上げます。

高松市御幸町　岡邊美枝

一日一回で效目の

新しい子宮療法

ワセトン球は服み藥ではありません、膣間の醫きを終へてゆつくり身に休業を與へる時刻に一日一回使用すればよい簡單な子宮藥でして、人によつては一日に一回使用で效目充分なほどよくよく手輕るでありません。

治療は毎日をはたらいて

てまひまかけず はたらき乍ら治せます

高松市御幸町　岡邊美枝

●おわが懐しの香水　ヨツヤ香水

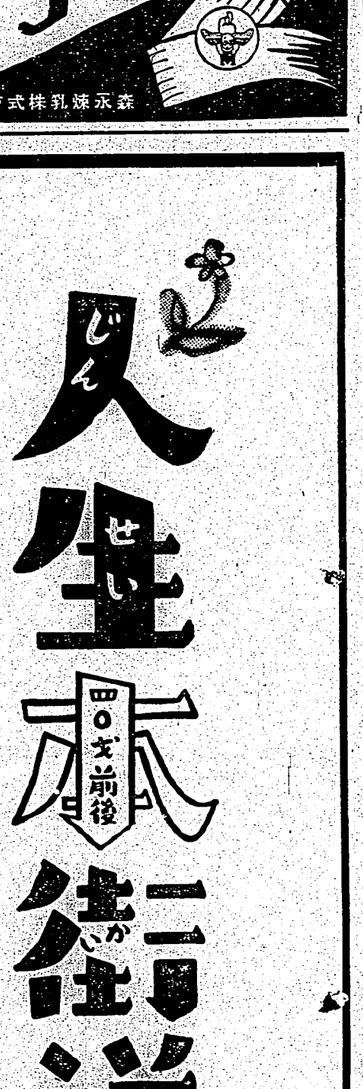
獨特の小粒で
化學的洗淨力があり
手荒く擦らずに落るから
絶對混りけなしの純植物性で
落ち濯ぎが早いから
その上値段が安く
無駄なく使へて經濟だから
どんな石鹼よりもスフ洗濯の條件に適つてゐます

花王石鹼株式會社長商會

☆月の友　ワスカ一滴救国かそる　御外出には是非!!　番百五香水

人生道

前後の一大岐路



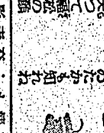
四十歳前後は、「不惑」ともいひ、「いよいよこれから」の働き盛り。人生の本街道に立つて榮冠を指呼に望む待機の季。まさに生活の旨味を知る頃。だが、精神的肉體的に、衝撃に似たある種の不安をお感じになる事がありませんか？…チラリ白髪が一二本…スグ疲れる…根氣が續かぬ…弱つて來た…頑張りが利かなくなつた…そんな現象が一寸でも見へたら油斷出來ません。なづ蜂ブドー酒（朝夕ホンの二杯）を御飲用下さい。これのもつ滋强素（葡萄糖・果糖・蜜分・カルシウム・其他）の優れた綜合作用でコノ危機を克服しませう。かくて蜂ブドー酒のもたらす强い迫力で闘志をもつて、突進していただき度いと、撓まぬ闘のであります。なほ、これは勿論、二十代三十代、又は五十以上の方にも申上げ度き事疲れ、不眠、食慾不振、病弱、康狀態に望く爲等の障害を除き、身體を完全な健に御常用下さい

東京・大阪・近藤商事株式會社

14—43

雪西近船

（37）　土師清二作　中村岳陵画



（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年五月三十一日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万四千八十二號　（一）

臺灣日日新報

日本唯一夕刊共二十頁

臺北市表町一丁目一番地　臺灣日日新報社　電話代表五八〇五番　編輯局五八〇六番　営業局五八〇七番　振替口座臺灣一〇番　定価一ヶ月金二円（日本國内及支那各地ヶ月金二円五十銭）　広告料特別一行十五字詰一回金壹圓　一行追加一回金五十銭

社說

管理米の買入價格發表
蓬萊米の增産政策は適切だ

一

臺灣米穀移出管理令に同施行規則による十一月一日以後實施の第二期米穀買入價格發表に當つてその中軸を爲す最重要項として關係方面注目の的となつてゐたが、去廿日の米穀會に於て自民政府出席の下に總督一致原案通り可決發表された。それに對し關係方面の批評は多岐に亘つてゐるが、概ね好意的に迎へられてゐる樣である。

二

蓬萊米と在來米とを區別して買入價格を發表したことは、在來米の生産を刺戟し、蓬萊米の增産を促進する點に於て、極めて適切な措置であると思ふ。

三

在來米の增産は、蓬萊米の增産に比べて容易でないことは、今更言ふまでもない。在來米は、蓬萊米に比べて、一般に收量が少く、品質も劣つてゐるが、それは、在來米の生産費が、蓬萊米に比べて、一般に低いからである。

在來米の增産を圖るには、在來米の生産費を、蓬萊米の生産費に近づけるやうにすることが、最も必要である。

在來米の生産費を、蓬萊米の生産費に近づけるには、在來米の收量を增加することが、最も有效な方法である。

在來米の收量を增加するには、肥料を多く與へることが、最も有效な方法である。

在來米の收量を增加するには、肥料を多く與へることが、最も有效な方法であるが、肥料を多く與へるには、肥料代金を、在來米の價格に、ある程度まで、織り込むことが、必要である。

在來米の價格に、肥料代金を、ある程度まで、織り込むことは、在來米の收量を增加し、在來米の生産費を、低下せしめる上に、極めて、有效な方法である。

四

在來米の價格に、肥料代金を、ある程度まで、織り込むことは、在來米の收量を增加し、在來米の生産費を、低下せしめる上に、極めて、有效な方法であるが、在來米の價格に、肥料代金を、織り込むことは、在來米の品質を、低下せしめる、缺點がある。

在來米の品質を、低下せしめることは、在來米の價格を、低下せしめることになり、在來米の收量を增加しても、在來米の生産費を、低下せしめることは、困難になる

輸出振興が焦眉の急務

経濟學博士　木村增太郎

本年四月までの輸出額は昨年に比して約七・六%増加し、輸入二四・四%の増加を示し、差つて入超額は昨年の一億二百万円から七千二百万円に減少されたのであるが、元来わが國の輸出は後の方に偏りすぎ、即ち年の後半期に於ける輸出額は前半期に於けるそれに比して約一割乃至二割の増加を示すのが例年の通りであつて、それだけ輸出振興に対する努力が前半期に於て缺けてゐたことを物語るものである。

×

本年四月までの輸出額は昨年に比して約七・六%増加し、輸入二四・四%の増加を示し、差つて入超額は昨年の一億二百万円から七千二百万円に減少されたのであるが、元来わが國の輸出は後の方に偏りすぎ、即ち年の後半期に於ける輸出額は前半期に於けるそれに比して約一割乃至二割の増加を示すのが例年の通りであつて、それだけ輸出振興に対する努力が前半期に於て缺けてゐたことを物語るものである。

×

◇…わが國の輸出は後の方に偏りすぎ

輸出振興が焦眉の急務であることは、それだけ輸出振興に対する努力が前半期に於て缺けてゐたことを物語るものである。

×

◇…二重物價

一昨年下半期以降本年三月までの間に、英國物價は九%、米國物價は一六%の大幅上落であるのに對し、わが國の物價は一一%の著しきを見た

◇…輸入の増加を來し

本年の貿易は輸入増とともに、より以上の輸出増を來したのは、たしかに輸出振興策の成功の結果といはなければならない。しかしこれで円ブロック問題の片がつくと思つたら根本的の錯誤である。

今後とも對英輸出の減退は円ブロックの問題で、その限りの外貨と何等の關聯もない、何ゆゑこれに對して法律決策を原則としないのであらうか、法律で支拂つて外貨に換ることとすれば、支那の民衆には關税が安いために密輸入もを得るのみならずそれはまた事實の結果を促進する點の法律打開策でもあるのである、月平均一千万円（本年）の中間で輸出は決して絶對に附せらるべき問題ではない

×

昨年第一・四半期に一千万円を占めた雨傘輸出は一年はその半ば以下の九百万円に激減した、これは

◇…ブロック

と第三國とに分けて見ると、前者の輸入は昨年同期額の二四%に對し、後者は二八・七%から四六・一%に

◇…貿易資金

輸出資金前貸利子補償制等が實施せられたが、輸出関税撤廃は決して輸出振興の策ではない、輸出品の原價引下げこそ最も必要である

◇…輸出振興

の具體策は何かといふに、それは

◇…原價引下げ

である、原價引下げの具體策は

◇…賃金引下げ

ではない、賃金引下げは國民購買力の減退を來すからである、

◇…原料引下げ

である、原料引下げの具體策は

◇…關税引下げ

である、關税引下げは

◇…財政收入減

を來すからである、

◇…財政收入減

は

◇…増税

を來すからである、

◇…増税

は

◇…物價騰貴

を來すからである、

◇…物價騰貴

は

◇…輸出減退

を來すからである、

◇…輸出減退

は

◇…輸入増

を來すからである、

◇…輸入増

は

◇…入超増大

を來すからである、

◇…入超増大

は

◇…金貨流出

を來すからである、

◇…金貨流出

は

◇…金融逼迫

を來すからである、

◇…金融逼迫

科學

病原體は生物か無生物か（下）

興味ある化學分析の結果

かうしてみると、病原體は普通の顯微鏡で見られる細菌類とよりも寧ろないことになる、細菌中でもバクテリアあり、黴細菌物（クロトソア）あり、黴菌あり、なほその他にも數えられるほど多種多樣で、病原體同樣濾過性體と看做してよいのである

病原體のもつ形のかさいことや、その特質にもかかはらず、多くの人ンデイキヤップを乘り超えて、いろいろの事實が發見されてゐる。研究者たちは實驗のやうな病原體を同じに扱つて、次第に驚くに堪へない、過勞に重れて敵の陰謀を暴き、その正體を突止めようとしてゐる

……×……

電顯鏡については、大きさや形、構造などについては、大體のおよそクリアほどの大さから、フロテイン分子位まで觀察することが出來る、形にも四形、棒狀の三つのあることまでは判つてゐる、それ以外にもあるかも知れないが、それは今後の研究に俟たれだらない

ウプアース博士の實驗によると、こは、天然痘の病原體の觀察である、顯微の新方式によつて病原體を鏡に作り出し、以て病狀を觀察ならしめることに成功してゐるから、その成果は知してまつきものがある

病原的研究としては、體液の生理的の結果として生ずる小膿疱、膿疱病原體の細菌基本體を酵化學的に分析によつて研明する試みが行はれたが、驚嘆する基本體の內容の百分比は左の如くである

プロテイン	八三・二一
脂肪	八・五四
灰分	〇・七二
殘留水分	五・五六
不明	二・〇六

右のうち不明とあるもの二パーセント强の中には含次酸素が檢出が認められる

この分析について考へてみれば、これは物質的についてバクテリアの主なプロトプラズム（原形質）として記載されてゐるやうと、何ら異るところがない、ここにも問題解決の一つの鍵がひそんでゐる

……×……

病原體研究の目的は、要するに體の病原體が發現する人類動植物の各種の疾病を防遏し、これを治療することになつたものである

……×……

超短波は又植物細胞に對して生育促進作用を與へる外から野菜類を人工的に肥らせも出來る訳である、又細菌に對して超短波の振動を與へるとバクテリヤが死滅する處から、體の各種の小膿疱を通して其體內のバクテリヤを殺菌せしめたり、これが日下東京府水產試驗場小林技師が主として實驗してゐるが、魚の體部を通して超短波による殺菌法が研究されて居り、從來の病原菌法殺菌法による殊菌の低下を防ぎ、水田の鯽の驅除をするのにホラ貝を吹き鳴らすと、一團の短音波振動によつて飛んでゐる鯽は地面に落ちる——ヒントは新しい方法にある事と思はれてゐる

……×……

この外超短波は醫療上、胸西に於ける無線探知に利用され、飛行機や艦船の發見に利用されてゐるのである

醫療では現在十數ヶ所の飛行場や之を應用し非常な成績をあげてゐるのである

時代の人氣もの

驚異の超短波

魚の罐詰を通して味覺の低下を防ぐ

科學界の花形超短波が、近代文明の畑に播かれてから間もないが、超短波の破力的發展は益々人類界にその人氣を集つて、無線通信、超短波醫法は云ふもなく一つの魔術にならせたり、雨天や大根を思ふ儘にならせたりする小膿位……この分で行くと肥つた人間、痩た人間も超短波によつて調節出來ようといふ、更に超短波の應用範圍は人間の智能によつて無制限に擴大されて行く訳である

……×……

一〇米至二〇米程度の超短波では晝間一五哩間、山岳山麓間、航空機一地上間の通信が行はれ又テレヴィジヨン放送に使用されて二米乃至一〇糎のデシメータ波では特殊通信員、一〇糎乃至一〇粍、センチメータ波では特殊通信と分子構造研究に役立つてゐる、最近はこの波長六米乃至七米出力數百ワットの小型發振管が出來、これを利用した「アナテルミー」で數百の患者を治療した實例も發表されてゐるが、これは從來の大掛りなものと違つて、取扱ひ容易、操作簡單、しかも安全な方法であるから、醫學界に一層の進歩を與へるものと期待されてゐる

……×……

超短波は人體の細胞組織に對して生育促進作用を與へる外から野菜類を人工的に肥らせも出來る訳である、又細菌に對して超短波の振動を與へるとバクテリヤが死滅する處から、體の各種の小膿疱を通して其體內のバクテリヤを殺菌せしめたり、これが日下東京府水產試驗場小林技師が主として實驗してゐるが、魚の體部を通して超短波による殺菌法が研究されて居り、從來の病原菌法殺菌法による殊菌の低下を防ぎ、水田の鯽の驅除をするのにホラ貝を吹き鳴らすと、一團の短音波振動によつて飛んでゐる鯽は地面に落ちる——ヒントは新しい方法にある事と思はれてゐる

……×……

この外超短波は醫療上、胸西に於ける無線探知に利用され、飛行機や艦船の發見に利用されてゐるのである

醫療では現在十數ヶ所の飛行場や之を應用し非常な成績をあげてゐるのである

讀心術を應用して觀察力のテスト

一時流行したメンタル・テストも永遠に續になつて種々の變態的な實驗の結果は、十人の中九人までは、まづ文字板の中央を眺め、それから眼を動かして餘の指してゐる文字の方をみる、だからトランプを扱いた人の眼を注意してさへゐれば數から時間を當てることは容易である、中で同數の多少によつて順位が決まる

このゲームはかういふ無意識の瞳孔表情の重要性を示すのみならず、いはゆる讀心術の原理を證據者に實證させ、同時に、觀察者の一人々々について、觀察力の强さ、鋭さ等をもテストし得るから、應用の範圍はすこぶる廣汎である

二、二十回もゲームを繼續すれば當事の能力を持つたものなら、殆どの部のトランプを正確に中てることが出來るやうで、もしこれが出來ないとすれば、少くとも觀察力において、一般水準以下であるとさへ斷言してゐるのである

雜誌紹介

▲日本の子供（創刊號）　發行所は東京市神田區一ツ橋通町二番地、電話神田（23）一九九九番、定價一部十錢、年額一圓二十錢、郵稅共一圓五十錢、發行人は小川未明、編輯兼發行人は小川未明、編輯人は坪田讓治、印刷人は小川菊松、印刷所は共同印刷株式會社、發行所は日本の子供社、東京市神田區一ツ橋通町二番地、電話神田（23）一九九九番、振替口座東京一九八九番

▲婦人畫報（五月號）　發行所は東京市麹町區有樂町一丁目四番地、電話丸の內（23）一九一一番、定價一部二十錢、年額二圓四十錢、發行人は石井研堂、印刷人は小林新一、印刷所は東京印刷株式會社、發行所は婦人畫報社、東京市麹町區有樂町一丁目四番地、電話丸の內（23）一九一一番、振替口座東京一九八九番

▲婦人畫報（五月號）　發行所は東京市麹町區有樂町一丁目四番地、電話丸の內（23）一九一一番、定價一部二十錢、年額二圓四十錢、發行人は石井研堂、印刷人は小林新一、印刷所は東京印刷株式會社、發行所は婦人畫報社、東京市麹町區有樂町一丁目四番地、電話丸の內（23）一九一一番、振替口座東京一九八九番

女性ホルモンに生命力維持

生命創造にあづかつて力あるホルモンが生命救助にも役立つとは新ニュース

無資大學のロバート・ゴーント博士及びプリンストン大學のハリー・ハイス博士の兩氏はみづから「ホルモンと生命」として、これを發表した

「サイエンス」誌上に報告してゐる。

ホルモンといふのは結晶性のプロゼステロンで、本質的には性性の發現を分泌に關する機能をもつホルモンなのである。これが生命の維持に必要なホルモンとして重要視されるコーチンの代用に成立つ——つまり一人一役の職業を演することができる。コーチンは體溫の發現及生殖機能から見る生命の危機を脫出するに絕對不可缺のものであるがこれがプロゼステロンによつても可能たといふことになつた。體溫からはコーチンのほかにアドレナリンやエピネリンを分泌するが、アドレナリンの場合からはこれといふ效果は現はないが、コーチンの分泌が停止されると、アデイソン氏病をおこす。この場合にはコーチンを與へてやればよいわけである。

インシュリンを與へなければならぬと一般である。

副腎を完全に取去つても結晶性プロゼステロンの投與によつて體液の生命を無期限に維持することが可能であるがこの場合副腎もコーチンも不要である。プロゼステロンの價はごく僅少で足りる但し毎日投與することを忘れてはならないとゴーント、ヘイス兩博士はいふ。

しかし、アデイソン氏病患者に對して、プロゼステロンを與へることは經濟的にみて困難といはねばならないが、プロジエステロンが甚だ高價なために用ひられないからで取出されてゐるが、唯一の缺點はコーチンはまだ纖維なかたちで取出されてゐないのに、プロジエステロンは化學的にみて完全に纖維な結晶として分離されてゐることで、これがアデイソン氏病の治療に相當影響することは考へられる。

從つてプロジエステロンがコーチンの代役を果し得るといつてもこの事實の發見の意義は未定といつてよいので、だが將來の研究によつての み、臨床的醫用の可能性を明らかにすることができようと、兩博士は結論してゐる

武藤貞一著　五月號　書切迫る！

皇民

一番の筆能く國論を引摺る！その烈々たる氣魄と飛躍的大文章を以て夙に「昭和の賴山陽」の名ある武藤貞一は今また、この一巻に依つて何を一億同胞に訴へんとする？第二世界大戰前夜といひ、長期建設といふ、その根本は何か？この曉古の艱難の中の日本の覺悟は？皇國至誠の熱血を以つて綴る大文字「皇民の書」にこそ訊くべし！

赤松克麿著　新しい野蠻主義　四六判一九二頁　定價八拾錢　〒四錢

本書こそ將に非常時突破の一大炬火であり、日本民族たるものの必讀の書である！

上海派遣軍の特務機關として戰爭の嵐つた中に飛び込み、新聞を發した著者の世に送る大アジアのイズムだ！

★★近刊大創刊★★

東京市芝區田村町五丁目七番地　東海出版社　振替東京七五四六番

●おゝ懷しのわが香水　ヨツヤ香

臺日ハイキングコース

昭和十四年二月增補改訂　三十萬分ノ一

臺灣全圖

臺北近郊篇　一冊金臺圖　定價一圓五十錢　送料六錢

臺北市榮町　臺灣日日新報社商事課

らなむの煙草

へ使をカモス

スモカは主として喫煙家の齒磨です　故にスモカを使へば齒の黑いヤニがちき取れます　そして喫煙家ならずとも誰もの齒を純な白さに輝かします　スモカは過度の喫煙から來る口中の荒れ！　臭ひ！　食慾の不進！　それを防いで口腔を常に正しい狀態に置きます　スモカの粉末には適度の潤ひを與へてありますから　それは無駄な散亂を防ぐためです　一人一纏の使用量は約一ケ月强　それ以上の消費は濫費です！

錢五十價定りあに店藥品醫化學

瓶一七ゼに庭家御

★髮リソ後に

今は一ずの剃刀マケも化膿しがちです。身嗜みのよい殿方なら必ず髭剃後にクラブ乳液をお使ひになつてゐます。その清淨溫化作用でホルモンとヴイタミンの綜合榮養力で剃刀マケの憂鬱な見事に一掃して了ひますから……

★容美り返若に

汗や油脂の分泌の多い唯今！　よほど念入りに皮膚の手當てをなさいませんとシアやタルミの原因となります　それは光や熱の刺戟で皮膚內部の榮養が皮膚表面にゆかり集るからで……この際クラブ乳液で皮膚の內部にホルモンとヴイタミンをタツプリ補給することが最善です。

★障碍豫防に

其他クラブ乳液はニキビ・ソバカス・シミ・吹出物の防止に！　お家庭で色々とご適用です。まあ……ご外出後の汗ばんだ肌をクラブ乳液で拭つてみて下さい！　そんなにか汚れが良くこれそんなにか血色が生々と林檎のやうに香るかを……ご覽下さい！

★爪化粧に

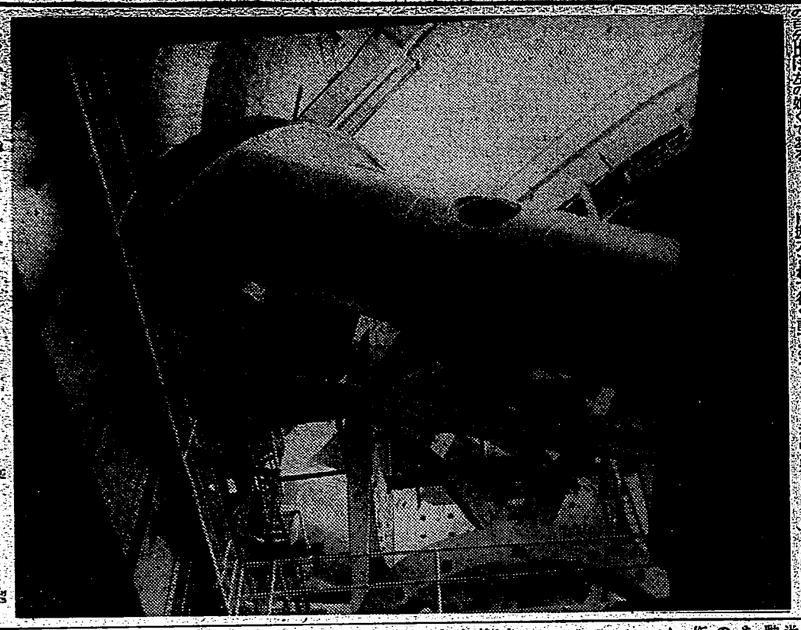
水仕事の後に、或ひは御洗濯後にはクラブ乳液！　さは主婦間の常識となりました。肌アレや水ムシ等の不快を未然に豫防し、何時もみづ〳〵しく美しいお手にします。特に爪の美しくなることは如何でせう……まるで貴婦人のやうにつや〳〵し特別に爪化粧などなる必要はありません。

用藥　クラブ乳液

若返り藥効化粧水

特許　ホルモン及びヴイタミンを含有

N-60



宇宙を見る

アメリカのパロマー天文臺に取つけられた一萬噸の世界一の大望遠鏡

空に残れる

月の影（二）

尾崎士郎 作

（第十回）

高木清書

夜の雨気が何処からともなく流れこんでくる。女の顔つかひがそれとはつきりわからぬほどの闇かさだつた。——信作は窓の色を眺めながら、しつとりと肌に来る感触を愉みしめるやうに味はつてゐた。

彼はときどき高まつてくる呼吸をおさへ、

「ふゝゝ」

とかすかな声で呟いた。

「どうしたの？」

「考へてゐるんだよ」

「何を——？」

「人間は何故生きなければならないかといふことさ」

「正しよ、もうそんな話」

「何故？」

「だつて、生きてゐるうちが楽しけりやそれでいいぢやないの」

「言ひ得て妙しいのかい？」

「——かうやつてゐるあひだはね。でも、わたし、きつとあんたに捨てられると思ふわ」

信作はまたそつと接吻を与へた。此処までできて、また同じことをくりかへしてゐる自分が何かゆくたまらなくなつてきたのである。

不意に伊佐子が膝の上へうつ伏しになつたと思ふと、すすりあげそうな声で泣きだした。

「どうしたの？」

「何でもないのよ——ひとりでに涙しが出てきやつたの。だつて、あんまりうれしいんだもの」

「そんなことをいふなよ——それに」

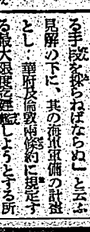
と言ひかけてから、信作は手さぐりに彼女の首筋へ手をかけた。

「おれは結婚を焦りすぎてゐるんだ」

太平洋に於ける列國の海軍情勢

（上）

★海軍省海軍軍事普及部



海軍省の発表に依れば、既に二年に亘るとする今日、現地前線の陸軍は断じて屈撓の神を観ずることなく、引続き敵に迫撃を加へつつあるのであるが、他方欧洲の戦雲及び極東日支事変は今以て支那西南方の奥地に顕著して、依然

紐育萬國博會場を行進するアメリカ軍隊

ラヂオ

朝

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ体操、朝の音楽（レコード）【六・二〇】ニュース（アイヤニリス作曲「夜の水車」）【六・三〇】ベンベルク作曲）：伯林国立歌劇場管弦楽団、歌曲の猟（フェルカー作曲）：ボリドール・ニリート管弦楽団【七・二〇】国民英語講座（第一回）日本と支那（第三回講師未定）【七・四〇】料理（第一回）【八・〇〇】ニュース【八・一〇】家庭百科（第一回）【八・四五】家庭百科（第二回）【九・〇〇】夏のお洒落について【一〇・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ体操、朝の音楽（レコード）【一〇・一五】家庭百科（第三回）【一〇・三〇】ニュース【一〇・四〇】家庭百科（第四回）【一一・〇〇】ニュース【一一・一〇】昼間信号ニュース【一一・一五】正午の時報【一二・〇〇】ニュース、天気予報、農業気象ニュース【一二・一五】昼間信号ニュース【一二・二〇】農事実況中継（東京）【一二・四〇】ニュース【一二・五五】時報

昼

【一二・〇〇】午後の放送（演芸）【一二・一〇】ニュース【一二・一五】天気予報【一二・二〇】ニュース【一二・三〇】ニュース【一二・四〇】ニュース【一二・五五】時報

夜

【六・〇〇】ニュース【六・一〇】ニュース【六・二〇】ニュース【六・三〇】ニュース【六・四〇】ニュース【六・五〇】ニュース【七・〇〇】子供の時間（東京）【七・二〇】ニュース【七・三〇】国民英語講座（第一回）【七・四〇】講演（第一回）【八・〇〇】ニュース【八・一〇】ニュース【八・二〇】ニュース【八・三〇】ニュース【八・四〇】ニュース【八・五〇】ニュース【九・〇〇】ニュース【九・一〇】ニュース【九・二〇】ニュース【九・三〇】ニュース【九・四〇】ニュース【九・五〇】ニュース【一〇・〇〇】ニュース【一〇・一〇】ニュース【一〇・二〇】ニュース【一〇・三〇】ニュース【一〇・四〇】ニュース【一〇・五〇】ニュース【一一・〇〇】ニュース【一一・一〇】ニュース【一一・二〇】ニュース【一一・三〇】ニュース【一一・四〇】ニュース【一一・五〇】ニュース【一二・〇〇】ニュース【一二・一〇】ニュース【一二・二〇】ニュース【一二・三〇】ニュース【一二・四〇】ニュース【一二・五〇】ニュース【一三・〇〇】ニュース【一三・一〇】ニュース【一三・二〇】ニュース【一三・三〇】ニュース【一三・四〇】ニュース【一三・五〇】ニュース【一四・〇〇】ニュース【一四・一〇】ニュース【一四・二〇】ニュース【一四・三〇】ニュース【一四・四〇】ニュース【一四・五〇】ニュース【一五・〇〇】ニュース【一五・一〇】ニュース【一五・二〇】ニュース【一五・三〇】ニュース【一五・四〇】ニュース【一五・五〇】ニュース【一六・〇〇】ニュース【一六・一〇】ニュース【一六・二〇】ニュース【一六・三〇】ニュース【一六・四〇】ニュース【一六・五〇】ニュース【一七・〇〇】ニュース【一七・一〇】ニュース【一七・二〇】ニュース【一七・三〇】ニュース【一七・四〇】ニュース【一七・五〇】ニュース【一八・〇〇】ニュース【一八・一〇】ニュース【一八・二〇】ニュース【一八・三〇】ニュース【一八・四〇】ニュース【一八・五〇】ニュース【一九・〇〇】ニュース【一九・一〇】ニュース【一九・二〇】ニュース【一九・三〇】ニュース【一九・四〇】ニュース【一九・五〇】ニュース【二〇・〇〇】ニュース【二〇・一〇】ニュース【二〇・二〇】ニュース【二〇・三〇】ニュース【二〇・四〇】ニュース【二〇・五〇】ニュース【二一・〇〇】ニュース【二一・一〇】ニュース【二一・二〇】ニュース【二一・三〇】ニュース【二一・四〇】ニュース【二一・五〇】ニュース【二二・〇〇】ニュース【二二・一〇】ニュース【二二・二〇】ニュース【二二・三〇】ニュース【二二・四〇】ニュース【二二・五〇】ニュース【二三・〇〇】ニュース【二三・一〇】ニュース【二三・二〇】ニュース【二三・三〇】ニュース【二三・四〇】ニュース【二三・五〇】ニュース【二四・〇〇】ニュース【二四・一〇】ニュース【二四・二〇】ニュース【二四・三〇】ニュース【二四・四〇】ニュース【二四・五〇】ニュース【二五・〇〇】ニュース【二五・一〇】ニュース【二五・二〇】ニュース【二五・三〇】ニュース【二五・四〇】ニュース【二五・五〇】ニュース【二六・〇〇】ニュース【二六・一〇】ニュース【二六・二〇】ニュース【二六・三〇】ニュース【二六・四〇】ニュース【二六・五〇】ニュース【二七・〇〇】ニュース【二七・一〇】ニュース【二七・二〇】ニュース【二七・三〇】ニュース【二七・四〇】ニュース【二七・五〇】ニュース【二八・〇〇】ニュース【二八・一〇】ニュース【二八・二〇】ニュース【二八・三〇】ニュース【二八・四〇】ニュース【二八・五〇】ニュース【二九・〇〇】ニュース【二九・一〇】ニュース【二九・二〇】ニュース【二九・三〇】ニュース【二九・四〇】ニュース【二九・五〇】ニュース【三〇・〇〇】ニュース【三〇・一〇】ニュース【三〇・二〇】ニュース【三〇・三〇】ニュース【三〇・四〇】ニュース【三〇・五〇】ニュース【三一・〇〇】ニュース【三一・一〇】ニュース【三一・二〇】ニュース【三一・三〇】ニュース【三一・四〇】ニュース【三一・五〇】ニュース【三二・〇〇】ニュース【三二・一〇】ニュース【三二・二〇】ニュース【三二・三〇】ニュース【三二・四〇】ニュース【三二・五〇】ニュース【三三・〇〇】ニュース【三三・一〇】ニュース【三三・二〇】ニュース【三三・三〇】ニュース【三三・四〇】ニュース【三三・五〇】ニュース【三四・〇〇】ニュース【三四・一〇】ニュース【三四・二〇】ニュース【三四・三〇】ニュース【三四・四〇】ニュース【三四・五〇】ニュース【三五・〇〇】ニュース【三五・一〇】ニュース【三五・二〇】ニュース【三五・三〇】ニュース【三五・四〇】ニュース【三五・五〇】ニュース【三六・〇〇】ニュース【三六・一〇】ニュース【三六・二〇】ニュース【三六・三〇】ニュース【三六・四〇】ニュース【三六・五〇】ニュース【三七・〇〇】ニュース【三七・一〇】ニュース【三七・二〇】ニュース【三七・三〇】ニュース【三七・四〇】ニュース【三七・五〇】ニュース【三八・〇〇】ニュース【三八・一〇】ニュース【三八・二〇】ニュース【三八・三〇】ニュース【三八・四〇】ニュース【三八・五〇】ニュース【三九・〇〇】ニュース【三九・一〇】ニュース【三九・二〇】ニュース【三九・三〇】ニュース【三九・四〇】ニュース【三九・五〇】ニュース【四〇・〇〇】ニュース【四〇・一〇】ニュース【四〇・二〇】ニュース【四〇・三〇】ニュース【四〇・四〇】ニュース【四〇・五〇】ニュース【四一・〇〇】ニュース【四一・一〇】ニュース【四一・二〇】ニュース【四一・三〇】ニュース【四一・四〇】ニュース【四一・五〇】ニュース【四二・〇〇】ニュース【四二・一〇】ニュース【四二・二〇】ニュース【四二・三〇】ニュース【四二・四〇】ニュース【四二・五〇】ニュース【四三・〇〇】ニュース【四三・一〇】ニュース【四三・二〇】ニュース【四三・三〇】ニュース【四三・四〇】ニュース【四三・五〇】ニュース【四四・〇〇】ニュース【四四・一〇】ニュース【四四・二〇】ニュース【四四・三〇】ニュース【四四・四〇】ニュース【四四・五〇】ニュース【四五・〇〇】ニュース【四五・一〇】ニュース【四五・二〇】ニュース【四五・三〇】ニュース【四五・四〇】ニュース【四五・五〇】ニュース【四六・〇〇】ニュース【四六・一〇】ニュース【四六・二〇】ニュース【四六・三〇】ニュース【四六・四〇】ニュース【四六・五〇】ニュース【四七・〇〇】ニュース【四七・一〇】ニュース【四七・二〇】ニュース【四七・三〇】ニュース【四七・四〇】ニュース【四七・五〇】ニュース【四八・〇〇】ニュース【四八・一〇】ニュース【四八・二〇】ニュース【四八・三〇】ニュース【四八・四〇】ニュース【四八・五〇】ニュース【四九・〇〇】ニュース【四九・一〇】ニュース【四九・二〇】ニュース【四九・三〇】ニュース【四九・四〇】ニュース【四九・五〇】ニュース【五〇・〇〇】ニュース【五〇・一〇】ニュース【五〇・二〇】ニュース【五〇・三〇】ニュース【五〇・四〇】ニュース【五〇・五〇】ニュース【五一・〇〇】ニュース【五一・一〇】ニュース【五一・二〇】ニュース【五一・三〇】ニュース【五一・四〇】ニュース【五一・五〇】ニュース【五二・〇〇】ニュース【五二・一〇】ニュース【五二・二〇】ニュース【五二・三〇】ニュース【五二・四〇】ニュース【五二・五〇】ニュース【五三・〇〇】ニュース【五三・一〇】ニュース【五三・二〇】ニュース【五三・三〇】ニュース【五三・四〇】ニュース【五三・五〇】ニュース【五四・〇〇】ニュース【五四・一〇】ニュース【五四・二〇】ニュース【五四・三〇】ニュース【五四・四〇】ニュース【五四・五〇】ニュース【五五・〇〇】ニュース【五五・一〇】ニュース【五五・二〇】ニュース【五五・三〇】ニュース【五五・四〇】ニュース【五五・五〇】ニュース【五六・〇〇】ニュース【五六・一〇】ニュース【五六・二〇】ニュース【五六・三〇】ニュース【五六・四〇】ニュース【五六・五〇】ニュース【五七・〇〇】ニュース【五七・一〇】ニュース【五七・二〇】ニュース【五七・三〇】ニュース【五七・四〇】ニュース【五七・五〇】ニュース【五八・〇〇】ニュース【五八・一〇】ニュース【五八・二〇】ニュース【五八・三〇】ニュース【五八・四〇】ニュース【五八・五〇】ニュース【五九・〇〇】ニュース【五九・一〇】ニュース【五九・二〇】ニュース【五九・三〇】ニュース【五九・四〇】ニュース【五九・五〇】ニュース【六〇・〇〇】ニュース【六〇・一〇】ニュース【六〇・二〇】ニュース【六〇・三〇】ニュース【六〇・四〇】ニュース【六〇・五〇】ニュース【六一・〇〇】ニュース【六一・一〇】ニュース【六一・二〇】ニュース【六一・三〇】ニュース【六一・四〇】ニュース【六一・五〇】ニュース【六二・〇〇】ニュース【六二・一〇】ニュース【六二・二〇】ニュース【六二・三〇】ニュース【六二・四〇】ニュース【六二・五〇】ニュース【六三・〇〇】ニュース【六三・一〇】ニュース【六三・二〇】ニュース【六三・三〇】ニュース【六三・四〇】ニュース【六三・五〇】ニュース【六四・〇〇】ニュース【六四・一〇】ニュース【六四・二〇】ニュース【六四・三〇】ニュース【六四・四〇】ニュース【六四・五〇】ニュース【六五・〇〇】ニュース【六五・一〇】ニュース【六五・二〇】ニュース【六五・三〇】ニュース【六五・四〇】ニュース【六五・五〇】ニュース【六六・〇〇】ニュース【六六・一〇】ニュース【六六・二〇】ニュース【六六・三〇】ニュース【六六・四〇】ニュース【六六・五〇】ニュース【六七・〇〇】ニュース【六七・一〇】ニュース【六七・二〇】ニュース【六七・三〇】ニュース【六七・四〇】ニュース【六七・五〇】ニュース【六八・〇〇】ニュース【六八・一〇】ニュース【六八・二〇】ニュース【六八・三〇】ニュース【六八・四〇】ニュース【六八・五〇】ニュース【六九・〇〇】ニュース【六九・一〇】ニュース【六九・二〇】ニュース【六九・三〇】ニュース【六九・四〇】ニュース【六九・五〇】ニュース【七〇・〇〇】ニュース【七〇・一〇】ニュース【七〇・二〇】ニュース【七〇・三〇】ニュース【七〇・四〇】ニュース【七〇・五〇】ニュース【七一・〇〇】ニュース【七一・一〇】ニュース【七一・二〇】ニュース【七一・三〇】ニュース【七一・四〇】ニュース【七一・五〇】ニュース【七二・〇〇】ニュース【七二・一〇】ニュース【七二・二〇】ニュース【七二・三〇】ニュース【七二・四〇】ニュース【七二・五〇】ニュース【七三・〇〇】ニュース【七三・一〇】ニュース【七三・二〇】ニュース【七三・三〇】ニュース【七三・四〇】ニュース【七三・五〇】ニュース【七四・〇〇】ニュース【七四・一〇】ニュース【七四・二〇】ニュース【七四・三〇】ニュース【七四・四〇】ニュース【七四・五〇】ニュース【七五・〇〇】ニュース【七五・一〇】ニュース【七五・二〇】ニュース【七五・三〇】ニュース【七五・四〇】ニュース【七五・五〇】ニュース【七六・〇〇】ニュース【七六・一〇】ニュース【七六・二〇】ニュース【七六・三〇】ニュース【七六・四〇】ニュース【七六・五〇】ニュース【七七・〇〇】ニュース【七七・一〇】ニュース【七七・二〇】ニュース【七七・三〇】ニュース【七七・四〇】ニュース【七七・五〇】ニュース【七八・〇〇】ニュース【七八・一〇】ニュース【七八・二〇】ニュース【七八・三〇】ニュース【七八・四〇】ニュース【七八・五〇】ニュース【七九・〇〇】ニュース【七九・一〇】ニュース【七九・二〇】ニュース【七九・三〇】ニュース【七九・四〇】ニュース【七九・五〇】ニュース【八〇・〇〇】ニュース【八〇・一〇】ニュース【八〇・二〇】ニュース【八〇・三〇】ニュース【八〇・四〇】ニュース【八〇・五〇】ニュース【八一・〇〇】ニュース【八一・一〇】ニュース【八一・二〇】ニュース【八一・三〇】ニュース【八一・四〇】ニュース【八一・五〇】ニュース【八二・〇〇】ニュース【八二・一〇】ニュース【八二・二〇】ニュース【八二・三〇】ニュース【八二・四〇】ニュース【八二・五〇】ニュース【八三・〇〇】ニュース【八三・一〇】ニュース【八三・二〇】ニュース【八三・三〇】ニュース【八三・四〇】ニュース【八三・五〇】ニュース【八四・〇〇】ニュース【八四・一〇】ニュース【八四・二〇】ニュース【八四・三〇】ニュース【八四・四〇】ニュース【八四・五〇】ニュース【八五・〇〇】ニュース【八五・一〇】ニュース【八五・二〇】ニュース【八五・三〇】ニュース【八五・四〇】ニュース【八五・五〇】ニュース【八六・〇〇】ニュース【八六・一〇】ニュース【八六・二〇】ニュース【八六・三〇】ニュース【八六・四〇】ニュース【八六・五〇】ニュース【八七・〇〇】ニュース【八七・一〇】ニュース【八七・二〇】ニュース【八七・三〇】ニュース【八七・四〇】ニュース【八七・五〇】ニュース【八八・〇〇】ニュース【八八・一〇】ニュース【八八・二〇】ニュース【八八・三〇】ニュース【八八・四〇】ニュース【八八・五〇】ニュース【八九・〇〇】ニュース【八九・一〇】ニュース【八九・二〇】ニュース【八九・三〇】ニュース【八九・四〇】ニュース【八九・五〇】ニュース【九〇・〇〇】ニュース【九〇・一〇】ニュース【九〇・二〇】ニュース【九〇・三〇】ニュース【九〇・四〇】ニュース【九〇・五〇】ニュース【九一・〇〇】ニュース【九一・一〇】ニュース【九一・二〇】ニュース【九一・三〇】ニュース【九一・四〇】ニュース【九一・五〇】ニュース【九二・〇〇】ニュース【九二・一〇】ニュース【九二・二〇】ニュース【九二・三〇】ニュース【九二・四〇】ニュース【九二・五〇】ニュース【九三・〇〇】ニュース【九三・一〇】ニュース【九三・二〇】ニュース【九三・三〇】ニュース【九三・四〇】ニュース【九三・五〇】ニュース【九四・〇〇】ニュース【九四・一〇】ニュース【九四・二〇】ニュース【九四・三〇】ニュース【九四・四〇】ニュース【九四・五〇】ニュース【九五・〇〇】ニュース【九五・一〇】ニュース【九五・二〇】ニュース【九五・三〇】ニュース【九五・四〇】ニュース【九五・五〇】ニュース【九六・〇〇】ニュース【九六・一〇】ニュース【九六・二〇】ニュース【九六・三〇】ニュース【九六・四〇】ニュース【九六・五〇】ニュース【九七・〇〇】ニュース【九七・一〇】ニュース【九七・二〇】ニュース【九七・三〇】ニュース【九七・四〇】ニュース【九七・五〇】ニュース【九八・〇〇】ニュース【九八・一〇】ニュース【九八・二〇】ニュース【九八・三〇】ニュース【九八・四〇】ニュース【九八・五〇】ニュース【九九・〇〇】ニュース【九九・一〇】ニュース【九九・二〇】ニュース【九九・三〇】ニュース【九九・四〇】ニュース【九九・五〇】ニュース【一〇〇・〇〇】ニュース【一〇〇・一〇】ニュース【一〇〇・二〇】ニュース【一〇〇・三〇】ニュース【一〇〇・四〇】ニュース【一〇〇・五〇】ニュース【一〇一・〇〇】ニュース【一〇一・一〇】ニュース【一〇一・二〇】ニュース【一〇一・三〇】ニュース【一〇一・四〇】ニュース【一〇一・五〇】ニュース【一〇二・〇〇】ニュース【一〇二・一〇】ニュース【一〇二・二〇】ニュース【一〇二・三〇】ニュース【一〇二・四〇】ニュース【一〇二・五〇】ニュース【一〇三・〇〇】ニュース【一〇三・一〇】ニュース【一〇三・二〇】ニュース【一〇三・三〇】ニュース【一〇三・四〇】ニュース【一〇三・五〇】ニュース【一〇四・〇〇】ニュース【一〇四・一〇】ニュース【一〇四・二〇】ニュース【一〇四・三〇】ニュース【一〇四・四〇】ニュース【一〇四・五〇】ニュース【一〇五・〇〇】ニュース【一〇五・一〇】ニュース【一〇五・二〇】ニュース【一〇五・三〇】ニュース【一〇五・四〇】ニュース【一〇五・五〇】ニュース【一〇六・〇〇】ニュース【一〇六・一〇】ニュース【一〇六・二〇】ニュース【一〇六・三〇】ニュース【一〇六・四〇】ニュース【一〇六・五〇】ニュース【一〇七・〇〇】ニュース【一〇七・一〇】ニュース【一〇七・二〇】ニュース【一〇七・三〇】ニュース【一〇七・四〇】ニュース【一〇七・五〇】ニュース【一〇八・〇〇】ニュース【一〇八・一〇】ニュース【一〇八・二〇】ニュース【一〇八・三〇】ニュース【一〇八・四〇】ニュース【一〇八・五〇】ニュース【一〇九・〇〇】ニュース【一〇九・一〇】ニュース【一〇九・二〇】ニュース【一〇九・三〇】ニュース【一〇九・四〇】ニュース【一〇九・五〇】ニュース【一一〇・〇〇】ニュース【一一〇・一〇】ニュース【一一〇・二〇】ニュース【一一〇・三〇】ニュース【一一〇・四〇】ニュース【一一〇・五〇】ニュース【一一一・〇〇】ニュース【一一一・一〇】ニュース【一一一・二〇】ニュース【一一一・三〇】ニュース【一一一・四〇】ニュース【一一一・五〇】ニュース【一一二・〇〇】ニュース【一一二・一〇】ニュース【一一二・二〇】ニュース【一一二・三〇】ニュース【一一二・四〇】ニュース【一一二・五〇】ニュース【一一三・〇〇】ニュース【一一三・一〇】ニュース【一一三・二〇】ニュース【一一三・三〇】ニュース【一一三・四〇】ニュース【一一三・五〇】ニュース【一一四・〇〇】ニュース【一一四・一〇】ニュース【一一四・二〇】ニュース【一一四・三〇】ニュース【一一四・四〇】ニュース【一一四・五〇】ニュース【一一五・〇〇】ニュース【一一五・一〇】ニュース【一一五・二〇】ニュース【一一五・三〇】ニュース【一一五・四〇】ニュース【一一五・五〇】ニュース【一一六・〇〇】ニュース【一一六・一〇】ニュース【一一六・二〇】ニュース【一一六・三〇】ニュース【一一六・四〇】ニュース【一一六・五〇】ニュース【一一七・〇〇】ニュース【一一七・一〇】ニュース【一一七・二〇】ニュース【一一七・三〇】ニュース【一一七・四〇】ニュース【一一七・五〇】ニュース【一一八・〇〇】ニュース【一一八・一〇】ニュース【一一八・二〇】ニュース【一一八・三〇】ニュース【一一八・四〇】ニュース【一一八・五〇】ニュース【一一九・〇〇】ニュース【一一九・一〇】ニュース【一一九・二〇】ニュース【一一九・三〇】ニュース【一一九・四〇】ニュース【一一九・五〇】ニュース【一二〇・〇〇】ニュース【一二〇・一〇】ニュース【一二〇・二〇】ニュース【一二〇・三〇】ニュース【一二〇・四〇】ニュース【一二〇・五〇】ニュース【一二一・〇〇】ニュース【一二一・一〇】ニュース【一二一・二〇】ニュース【一二一・三〇】ニュース【一二一・四〇】ニュース【一二一・五〇】ニュース【一二二・〇〇】ニュース【一二二・一〇】ニュース【一二二・二〇】ニュース【一二二・三〇】ニュース【一二二・四〇】ニュース【一二二・五〇】ニュース【一二三・〇〇】ニュース【一二三・一〇】ニュース【一二三・二〇】ニュース【一二三・三〇】ニュース【一二三・四〇】ニュース【一二三・五〇】ニュース【一二四・〇〇】ニュース【一二四・一〇】ニュース【一二四・二〇】ニュース【一二四・三〇】ニュース【一二四・四〇】ニュース【一二四・五〇】ニュース【一二五・〇〇】ニュース【一二五・一〇】ニュース【一二五・二〇】ニュース【一二五・三〇】ニュース【一二五・四〇】ニュース【一二五・五〇】ニュース【一二六・〇〇】ニュース【一二六・一〇】ニュース【一二六・二〇】ニュース【一二六・三〇】ニュース【一二六・四〇】ニュース【一二六・五〇】ニュース【一二七・〇〇】ニュース【一二七・一〇】ニュース【一二七・二〇】ニュース【一二七・三〇】ニュース【一二七・四〇】ニュース【一二七・五〇】ニュース【一二八・〇〇】ニュース【一二八・一〇】ニュース【一二八・二〇】ニュース【一二八・三〇】ニュース【一二八・四〇】ニュース【一二八・五〇】ニュース【一二九・〇〇】ニュース【一二九・一〇】ニュース【一二九・二〇】ニュース【一二九・三〇】ニュース【一二九・四〇】ニュース【一二九・五〇】ニュース【一三〇・〇〇】ニュース【一三〇・一〇】ニュース【一三〇・二〇】ニュース【一三〇・三〇】ニュース【一三〇・四〇】ニュース【一三〇・五〇】ニュース【一三一・〇〇】ニュース【一三一・一〇】ニュース【一三一・二〇】ニュース【一三一・三〇】ニュース【一三一・四〇】ニュース【一三一・五〇】ニュース【一三二・〇〇】ニュース【一三二・一〇】ニュース【一三二・二〇】ニュース【一三二・三〇】ニュース【一三二・四〇】ニュース【一三二・五〇】ニュース【一三三・〇〇】ニュース【一三三・一〇】ニュース【一三三・二〇】ニュース【一三三・三〇】ニュース【一三三・四〇】ニュース【一三三・五〇】ニュース【一三四・〇〇】ニュース【一三四・一〇】ニュース【一三四・二〇】ニュース【一三四・三〇】ニュース【一三四・四〇】ニュース【一三四・五〇】ニュース【一三五・〇〇】ニュース【一三五・一〇】ニュース【一三五・二〇】ニュース【一三五・三〇】ニュース【一三五・四〇】ニュース【一三五・五〇】ニュース【一三六・〇〇】ニュース【一三六・一〇】ニュース【一三六・二〇】ニュース【一三六・三〇】ニュース【一三六・四〇】ニュース【一三六・五〇】ニュース【一三七・〇〇】ニュース【一三七・一〇】ニュース【一三七・二〇】ニュース【一三七・三〇】ニュース【一三七・四〇】ニュース【一三七・五〇】ニュース【一三八・〇〇】ニュース【一三八・一〇】ニュース【一三八・二〇】ニュース【一三八・三〇】ニュース【一三八・四〇】ニュース【一三八・五〇】ニュース【一三九・〇〇】ニュース【一三九・一〇】ニュース【一三九・二〇】ニュース【一三九・三〇】ニュース【一三九・四〇】ニュース【一三九・五〇】ニュース【一四〇・〇〇】ニュース【一四〇・一〇】ニュース【一四〇・二〇】ニュース【一四〇・三〇】ニュース【一四〇・四〇】ニュース【一四〇・五〇】ニュース【一四一・〇〇】ニュース【一四一・一〇】ニュース【一四一・二〇】ニュース【一四一・三〇】ニュース【一四一・四〇】ニュース【一四一・五〇】ニュース【一四二・〇〇】ニュース【一四二・一〇】ニュース【一四二・二〇】ニュース【一四二・三〇】ニュース【一四二・四〇】ニュース【一四二・五〇】ニュース【一四三・〇〇】ニュース【一四三・一〇】ニュース【一四三・二〇】ニュース【一四三・三〇】ニュース【一四三・四〇】ニュース【一四三・五〇】ニュース【一四四・〇〇】ニュース【一四四・一〇】ニュース【一四四・二〇】ニュース【一四四・三〇】ニュース【一四四・四〇】ニュース【一四四・五〇】ニュース【一四五・〇〇】ニュース【一四五・一〇】ニュース【一四五・二〇】ニュース【一四五・三〇】ニュース【一四五・四〇】ニュース【一四五・五〇】ニュース【一四六・〇〇】ニュース【一四六・一〇】ニュース【一四六・二〇】ニュース【一四六・三〇】ニュース【一四六・四〇】ニュース【一四六・五〇】ニュース【一四七・〇〇】ニュース【一四七・一〇】ニュース【一四七・二〇】ニュース【一四七・三〇】ニュース【一四七・四〇】ニュース【一四七・五〇】ニュース【一四八・〇〇】ニュース【一四八・一〇】ニュース【一四八・二〇】ニュース【一四八・三〇】ニュース【一四八・四〇】ニュース【一四八・五〇】ニュース【一四九・〇〇】ニュース【一四九・一〇】ニュース【一四九・二〇】ニュース【一四九・三〇】ニュース【一四九・四〇】ニュース【一四九・五〇】ニュース【一五〇・〇〇】ニュース【一五〇・一〇】ニュース【一五〇・二〇】ニュース【一五〇・三〇】ニュース【一五〇・四〇】ニュース【一五〇・五〇】ニュース【一五一・〇〇】ニュース【一五一・一〇】ニュース【一五一・二〇】ニュース【一五一・三〇】ニュース【一五一・四〇】ニュース【一五一・五〇】ニュース【一五二・〇〇】ニュース【一五二・一〇】ニュース【一五二・二〇】ニュース【一五二・三〇】ニュース【一五二・四〇】ニュース【一五二・五〇】ニュース【一五三・〇〇】ニュース【一五三・一〇】ニュース【一五三・二〇】ニュース【一五三・三〇】ニュース【一五三・四〇】ニュース【一五三・五〇】ニュース【一五四・〇〇】ニュース【一五四・一〇】ニュース【一五四・二〇】ニュース【一五四・三〇】ニュース【一五四・四〇】ニュース【一五四・五〇】ニュース【一五五・〇〇】ニュース【一五五・一〇】ニュース【一五五・二〇】ニュース【一五五・三〇】ニュース【一五五・四〇】ニュース【一五五・五〇】ニュース【一五六・〇〇】ニュース【一五六・一〇】ニュース【一五六・二〇】ニュース【一五六・三〇】ニュース【一五六・四〇】ニュース【一五六・五〇】ニュース【一五七・〇〇】ニュース【一五七・一〇】ニュース【一五七・二〇】ニュース【一五七・三〇】ニュース【一五七・四〇】ニュース【一五七・五〇】ニュース【一五八・〇〇】ニュース【一五八・一〇】ニュース【一五八・二〇】ニュース【一五八・三〇】ニュース【一五八・四〇】ニュース【一五八・五〇】ニュース【一五九・〇〇】ニュース【一五九・一〇】ニュース【一五九・二〇】ニュース【一五九・三〇】ニュース【一五九・四〇】ニュース【一五九・五〇】ニュース【一六〇・〇〇】ニュース【一六〇・一〇】ニュース【一六〇・二〇】ニュース【一六〇・三〇】ニュース【一六〇・四〇】ニュース【一六〇・五〇】ニュース【一六一・〇〇】ニュース【一六一・一〇】ニュース【一六一・二〇】ニュース【一六一・三〇】ニュース【一六一・四〇】ニュース【一六一・五〇】ニュース【一六二・〇〇】ニュース【一六二・一〇】ニュース【一六二・二〇】ニュース【一六二・三〇】ニュース【一六二・四〇】ニュース【一六二・五〇】ニュース【一六三・〇〇】ニュース【一六三・一〇】ニュース【一六三・二〇】ニュース【一六三・三〇】ニュース【一六三・四〇】ニュース【一六三・五〇】ニュース【一六四・〇〇】ニュース【一六四・一〇】ニュース【一六四・二〇】ニュース【一六四・三〇】ニュース【一六四・四〇】ニュース【一六四・五〇】ニュース【一六五・〇〇】ニュース【一六五・一〇】ニュース【一六五・二〇】ニュース【一六五・三〇】ニュース【一六五・四〇】ニュース【一六五・五〇】ニュース【一六六・〇〇】ニュース【一六六・一〇】ニュース【一六六・二〇】ニュース【一六六・三〇】ニュース【一六六・四〇】ニュース【一六六・五〇】ニュース【一六七・〇〇】ニュース【一六七・一〇】ニュース【一六七・二〇】ニュース【一六七・三〇】ニュース【一六七・四〇】ニュース【一六七・五〇】ニュース【一六八・〇〇】ニュース【一六八・一〇】ニュース【一六八・二〇】ニュース【一六八・三〇】ニュース【一六八・四〇】ニュース【一六八・五〇】ニュース【一六九・〇〇】ニュース【一六九・一〇】ニュース【一六九・二〇】ニュース【一六九・三〇】ニュース【一六九・四〇】ニュース【一六九・五〇】ニュース【一七〇・〇〇】ニュース【一七〇・一〇】ニュース【一七〇・二〇】ニュース【一七〇・三〇】ニュース【一七〇・四〇】ニュース【一七〇・五〇】ニュース【一七一・〇〇】ニュース【一七一・一〇】ニュース【一七一・二〇】ニュース【一七一・三〇】ニュース【一七一・四〇】ニュース【一七一・五〇】ニュース【一七二・〇〇】ニュース【一七二・一〇】ニュース【一七二・二〇】ニュース【一七二・三〇】ニュース【一七二・四〇】ニュース【一七二・五〇】ニュース【一七三・〇〇】ニュース【一七三・一〇】ニュース【一七三・二〇】ニュース【一七三・三〇】ニュース【一七三・四〇】ニュース【一七三・五〇】ニュース【一七四・〇〇】ニュース【一七四・一〇】ニュース【一七四・二〇】ニュース【一七四・三〇】ニュース【一七四・四〇】ニュース【一七四・五〇】ニュース【一七五・〇〇】ニュース【一七五・一〇】ニュース【一七五・二〇】ニュース【一七五・三〇】ニュース【一七五・四〇】ニュース【一七五・五〇】ニュース【一七六・〇〇】ニュース【一七六・一〇】ニュース【一七六・二〇】ニュース【一七六・三〇】ニュース【一七六・四〇】ニュース【一七六・五〇】ニュース【一七七・〇〇】ニュース【一七七・一〇】ニュース【一七七・二〇】ニュース【一七七・三〇】ニュース【一七七・四〇】ニュース【一七七・五〇】ニュース【一七八・〇〇】ニュース【一七八・一〇】ニュース【一七八・二〇】ニュース【一七八・三〇】ニュース【一七八・四〇】ニュース【一七八・五〇】ニュース【一七九・〇〇】ニュース【一七九・一〇】ニュース【一七九・二〇】ニュース【一七九・三〇】ニュース【一七九・四〇】ニュース【一七九・五〇】ニュース【一八〇・〇〇】ニュース【一八〇・一〇】ニュース【一八〇・二〇】ニュース【一八〇・三〇】ニュース【一八〇・四〇】ニュース【一八〇・五〇】ニュース【一八一・〇〇】ニュース【一八一・一〇】ニュース【一八一・二〇】ニュース【一八一・三〇】ニュース【一八一・四〇】ニュース【一八一・五〇】ニュース【一八二・〇〇】ニュース【一八二・一〇】ニュース【一八二・二〇】ニュース【一八二・三〇】ニュース【一八二・四〇】ニュース【一八二・五〇】ニュース【一八三・〇〇】ニュース【一八三・一〇】ニュース【一八三・二〇】ニュース【一八三・三〇】ニュース【一八三・四〇】ニュース【一八三・五〇】ニュース【一八四・〇〇】ニュース【一八四・一〇】ニュース【一八四・二〇】ニュース【一八四・三〇】ニュース【一八四・四〇】ニュース【一八四・五〇】ニュース【一八五・〇〇】ニュース【一八五・一〇】ニュース【一八五・二〇】ニュース【一八五・三〇】ニュース【一八五・四〇】ニュース【一八五・五〇】ニュース【一八六・〇〇】ニュース【一八六・一〇】ニュース【一八六・二〇】ニュース【一八六・三〇】ニュース【一八六・四〇】ニュース【一八六・五〇】ニュース【一八七・〇〇】ニュース【一八七・一〇】ニュース【一八七・二〇】ニュース【一八七・三〇】ニュース【一八七・四〇】ニュース【一八七・五〇】ニュース【一八八・〇〇】ニュース【一八八・一〇】ニュース【一八八・二〇】ニュース【一八八・三〇】ニュース【一八八・四〇】ニュース【一八八・五〇】ニュース【一八九・〇〇】ニュース【一八九・一〇】ニュース【一八九・二〇】ニュース【一八九・三〇】ニュース【一八九・四〇】ニュース【一八九・五〇】ニュース【一九〇・〇〇】ニュース【一九〇・一〇】ニュース【一九〇・二〇】ニュース【一九〇・三〇】ニュース【一九〇・四〇】ニュース【一九〇・五〇】ニュース【一九一・〇〇】ニュース【一九一・一〇】ニュース【一九一・二〇】ニュース【一九一・三〇】ニュース【一九一・四〇】ニュース【一九一・五〇】ニュース【一九二・〇〇】ニュース【一九二・一〇】ニュース【一九二・二〇】ニュース【一九二・三〇】ニュース【一九二・四〇】ニュース【一九二・五〇】ニュース【一九三・〇〇】ニュース【一九三・一〇】ニュース【一九三・二〇】ニュース【一九三・三〇】ニュース【一九三・四〇】ニュース【一九三・五〇】ニュース【一九四・〇〇】ニュース【一九四・一

戰線へ慰問の梅干
見事に出來上る
獻納式も嚴に、直に發送

台中州員林郡では後方より大陸部隊への慰問袋に梅干を贈るべく去る四月上旬より婦人會員林分會員總出で員林郡下各家庭から供出された梅干百七十餘俵が出來上つたので去る五月二十九日午前十時より郡會議室にて、愛國台中州分會より出席の林呈内務、伊藤警務部長、澁川總務課長夫人の臨席を得て大獻納式を擧行、澁川總務課長、外事課員、警察官、家畜女學生等約一百餘名列席の下に嚴肅に獻納式を終り、同十一時散會に際し

說賀宴　竹東郡竹東實吉田三郎氏は去る二十八日午五時の祝宴に當るので招待客なる者百餘名を午後五時竹東久慕乃家に招待して內祝の宴を張り和氣藹々裡に午後七時過散會した

國、錄調査會設置
遺漏なきを期す

台中州員林郡では去る二十九日午前十時より郡會議室に於て國民登錄及義勇隊編成を協議、松浦郡守、戶田警務課長、北川警察課長、東條國民運動主事、關谷分室、鈴木行政、軍神部落會長、張田警察官等約二十餘名出席、張田警察官より左の他一般關係者、街庄

綠蔭放談

文藝と科學に就て（上）

本々高太郎
海野十三

住居のこと

本々　今夜はどんな話をすればいいんですか

記者　御自由に、どうぞ

本々　それは有難い、海野さん、貴方と近いうちに引越すかも知れませんよ

海野　ほほ、どちらへお越しになるんですか

本々　目黒の祐天寺です、先日下檢分をしましたが、靜かで勉強が出來さうです、海野さんのお住居は相變らずいいですね

海野　實のところは世田ケ谷の若林ですが、まるで田舍ですよ、住居としては靜かで理想的だが、どうも不便だ、よる方々には不氣の毒をしてゐます、といふのは僕にかこまれた中なので、家を探すのにみんなが一苦勞するらしい、僕は地主の所有だからもらへるが、この頃は新築の貸家を紹介してくれるので、探偵小說家をお斷りして來ましたといはれて實に困る事があります

本々　國定忠治の出るやうなところとは面白いですね

海野　まさかそれほどでもないですよ、今度お越しになる祐天寺も田舍なんでせう、木々さんのところへ時々遊びに行つて、勉强に勵つても、怠りの當がわからんやうでは困る

本々　その心配はないでせよ、女子大下、振替氏等の作品には特別な親しみをもつて讀んでゐたがみてひどく感心したのです、その當時僕は早稻田の理工學部の電氣試驗所に勤めてゐた頃、役所の仕事の傍ら探偵小說を讀んでゐた、たしか震災の翌年だつたと記憶してゐるが江戸川さんの第一回の創作集『心理試驗』が出版されましてね、その頃は出話をしませう、震災で藏の當時住んでゐた淺草の家が丸燒となり、目黒の淺草藏前邊といふところに住んでゐた、震災で何と苦勞を失つてゐたので書物も借り讀まずにゐられなかつたから、或る日書物を買ひに三越へ入つてみた、震災のためまだ書物は何處でも賣つてゐなかつたのです、三越に入つて行くと、二階の目扱きのところに書籍部があつたので、とても嬉しかつた、探偵小說を漁つてゐると、江戸川さんのものが出てゐたので、早速一冊を拔いて讀つた、その書物を家に歸る電車の中で擦つて讀み出したのだが、これはいい書物を買つたものだと思つた、家に戻つても讀みつづけ遂讀んでしまつたが、その夜は興奮して眠れなかつた、その書物のトップには處女作の「二錢銅貨」が出てゐた、この作にも非常な感銘をおぼえたのです、こんなに興奮したことはありませんでしたね、それが例みつきで江戸川さんのものを殆んど讀みつくしました、その書物の中には「一枚の切符」「D坂の殺人事件」「赤い部屋」「心理試驗」「人間椅子」「屋根裏の散歩者」「パノラマ島奇譚」「蜘蛛男」「一寸法師」「鏡地獄」「蟲」「火星の運河」「白髪鬼」「陰獸」「吸血鬼」「黒蜥蜴」「盲獸」「悪靈」「幽鬼の塔」「孤島の鬼」「蜘蛛」「怪人二十面相」「少年探偵團」「妖虫」「怪奇四十面相」「地獄の道化師」「黄金豹」「青銅の魔人」「透明怪人」「鉄人Q」「大金塊」「宇宙戰爭」「超人ニコラ」「魔法博士」「夜光人間」「幽霊塔」「緑衣の鬼」「大暗黒」「妖人ゴング」「魔人」「魔術師」「悪魔の紋章」「黄色い部屋」「ルパン」「ホームズ」「ルコック」「ポー」「ドイル」「ルルー」「ルブラン」「ヴアン・ダイン」「クロフツ」「ノックス」「ヴアンス」「カー」「クイーン」「ハメット」「ヘミングウエー」「ヘイ」「ウールリッチ」「ケンリック」「ケイン」「ハガード」「ウエルズ」「ヴエルヌ

日本鶏二十八羽が堂々と海を渡る

北米の家禽展に出席

佐藤の白色蘆花鶏は白色羽毛十五尺の優美なもの又雄鶏は鶏冠の美しさ尾羽は鶏毛が二尺余りと来る八月末迄に帰朝の予定である

【東京二十日發同盟】國鐵が我國代表として家禽用に、又觀賞鳥として世界に誇るものである、日本觀賞鶏協會では大正十二年北米クリーブランド市に開催する第七回万国家禽博覧会に出品、世界の家禽界に我が鶏種の優秀さを認識せしめんとの目的で、東京帝大農學部教授正木正博士を顧問に、理事に佐藤喜一郎氏、評議員に中村八太郎氏、幹事に佐藤庄一郎氏を挙げ、目下鋭意その準備に着手中であるが、今回出品の鶏種は白色蘆花鶏、白色レグホン、黒色ミノルカ、黒色オーピントン、黒色ランシャン、黒色ミノルカの十一種二十八羽の代表的なものにて、出品鶏は何れも優秀なる血統を有し、殊に白色蘆花鶏は白色羽毛十五尺の優美なもの又雄鶏は鶏冠の美しさ尾羽は鶏毛が二尺余りと来る八月末迄に帰朝の予定である

楊萬寶逮捕者に輝く功勞章

本島では六回目の行賞

【臺北二十日發】北白川宮能久親王殿下の御遺徳顕彰會では本日午前十時から御遺跡所において本會總裁北白川宮永久王殿下の御名代として良子女王殿下が御差遣となり参拝される

雙溪御遺跡所で記念祭典を

【臺北二十日發】北白川宮能久親王殿下の御遺徳顕彰會では本日午前十時から御遺跡所において本會總裁北白川宮永久王殿下の御名代として良子女王殿下が御差遣となり参拝される

育ての苦心を語る

軍教制定當時の追憶ばなし

宇垣、荒木の兩將軍が

當時の苦心談を「ほう〳〵」と聞いてゐた宇垣さんも

あの當時は日田三郎が盛んで學校に軍教を施行するのに苦心した、自分が閣議に行く時など學出が官邸の門の所に待つてゐた學生大勢だつたと昔を偲ぶ老顔ひ、荒木さんも

良書の普及に文部省が世話役

兒童向きと一般圖書

若き戰士に便じて大陸に兵役檢査場

邦人の行く所奥地にも設く

新南群島の北端に無看守燈臺を建設

臺灣漁船隊の案内役

五台山へ五台山へ

寫眞は上下とも五台山攻略戰に進撃する我〇〇部隊　陸軍省許可濟

歸艦忘れて朝歸り

呑氣な英國の水兵さん

鼓浪嶼で

描素兵水國外

大陸へ進出する日本の各宗佛教

關係者が集り座談會

廣東訪日團高雄に第一歩

二十九日〇〇九で來朝した廣東訪日團の一行十一名（〇〇米ヴィンにて）

中村アナ君榮轉

國鐵の疑獄事件やうやく結審

判決は七月中旬頃か

一高女で東鄕祭

故元帥を偲び數々の催し

日足、四本の兩氏漸く出獄

理想的速射消火栓豆ポンプ誕生

帝都の防火に威力發揮

百萬圓を目標に基隆郡下の金報國運動

比島タガログ語の日比會話篇上梓

沖實雄君苦心の編纂

重臣卅二名を證人に申請

神兵隊事件六十三回の公判

全種目を含めて府縣の對抗競技

神宮體育大會の方針決る

五台山へ五台山へ

呑氣な英國の水兵さん

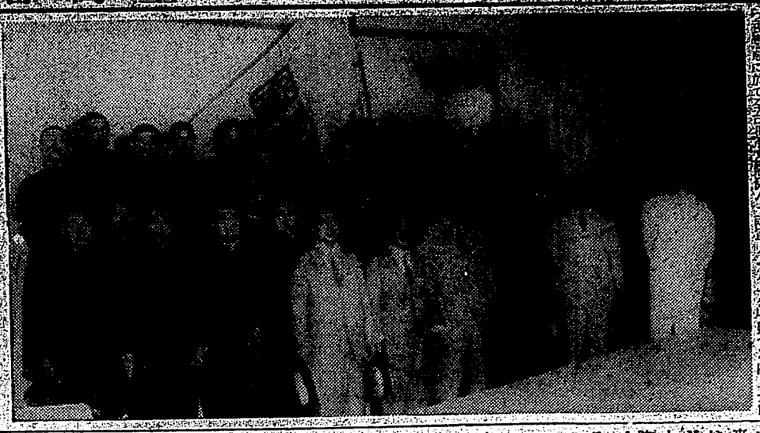
歸艦忘れて朝歸り

鼓浪嶼で

描素兵水國外

全國代表浪曲大會
臺北市公會堂
六月一日　宮川大納言一行六名

來征の國士館柔道部
けふ全臺北と對戰
激戰を豫想される三段陣



既報の如く國士館柔道部は三十日午後二時二十五分臺北着で來征したが一行は直ちに宿舎に於て全臺北選手と懇談の一席を設くる事となつた、圖は其の際のメムバーで左の如し

國士館
大將　細川五郎
副將　玉城親兒
二段　間田四郎
二段　佐藤本幸
二段　土田保
二段　大内村長
二段　坂崎大家
二段　鈴木喜一郎
二段　西川石原
二段　大石三郎
二段　白鬚一郎
二段　久保谷口
二段　布施岡
二段　北川西
二段　三戸石田
二段　伊野加納

永井　熊田　曾根　森谷　土田　佐藤　河尾野村

全臺北
大將　吉岡
副將　玉城親兒
二段　間田四郎
二段　佐藤本幸
二段　土田保
二段　大内村長
二段　坂崎大家
二段　鈴木喜一郎
二段　西川石原
二段　大石三郎
二段　白鬚一郎
二段　久保谷口
二段　布施岡
二段　北川西
二段　三戸石田
二段　伊野加納

丹羽慶原

一戰を交へる事となつた、國士館の實力はわからぬがまづ現役学生當の元氣一杯な點たからの見て全支へあるまい、台北當は先鋒高橋軍を迎へて堂々勝つてゐるが全台選軍と云ふべきメムバーでしかも北鯤五段の間田四郎よく三人を抜つて大將と引分けたからこその勝利であつて全體としての實味はまづ高橋軍にありと見た二戰であつた、殊に今度は勝北編なく、四段戰に入つて中堅、久松の不出場等、中堅以上の力に一寸台北に軍配は上げ難い吉瀧に對しの孫と云ふ全軍の實任は荷重に對の双肩に懸り、これを小兵ながら第二の關世田以下四段戰の勝利が伸ばねばなるまいが若し勝敗の鍵り目は三段戰の勝敗にありと思へる、三段戰は台北も兩段総揃りで勝敗を決め、二班

一班
大將　森　禎夫（九、一段）
副將　張本幸夫（二、一段）
四將　堀田貫美（二、一段）
三將　関谷　登（二、一段）
副將　大久保英雄（二、一段）
中堅　中山良幸（九、初段）
宜蘭農林學校
先鋒　稲田　勝之（四、一段）
四將　田中　勝之（四、一段）
三將　佐藤三郎（四、一段）
副將　伊藤儀一郎（四、初段）
大將　高橋幸一郎（九、初段）

臺北第一中學校
先鋒　飯田　哲（九、初段）
四將　新沼　順雄（四、初段）
三將　中西　勇一（九、初段）
副將　塚原　重造（九、一段）
大將　高須　俊行（九、一段）
臺中商業學校
先鋒　横内　正義（九、一段）

臺北第二師範學校
先鋒　福本　幸夫（二、一段）
四將　堀田　貫美（二、一段）
三將　関谷　登（二、一段）
副將　大久保英雄（二、一段）
中堅　中山　良幸（九、初段）
宜蘭農林學校
先鋒　稲田　勝之（四、一段）
四將　田中　勝之（四、一段）
三將　佐藤三郎（四、一段）
副將　伊藤儀一郎（四、初段）
大將　高橋幸一郎（九、初段）
臺北工業學校
先鋒　工藤　研三（九、一段）
四將　小川　金藏（四、初段）
三將　増田　清美（四、初段）
副將　岩間　芝之（九、初段）
大將　鹽坂　英夫（九、一段）

全日本
中等學校劍道
組合せ、メムバー決る

全日本中等學校劍道大會は來る八月二、三の兩日大阪中之島公會堂に於て挙行される、こゝが台湾地方豫選會場の如く六月四日午前八時半より台北武徳殿に於て十五校、百二十五名の選手參加の下に華々しく行はれる事が決定された組合及各校メンバーは左の通りである

臺北商業
臺北中學
臺北二中
臺北一商
臺北一中
臺中一中
新竹中學
高雄中學
臺北一商
臺北一中
宜蘭農林

一班
大將　森　禎夫（九、一段）
副將　張本幸夫（二、一段）
四將　堀田　貫美（二、一段）
三將　関谷　登（二、一段）
副將　大久保英雄（二、一段）
中堅　中山　良幸（九、初段）

臺北第二師範學校
先鋒　福本　幸夫（二、一段）
四將　堀田　貫美（二、一段）
三將　関谷　登（二、一段）
副將　大久保英雄（二、一段）
中堅　中山　良幸（九、初段）

臺北第一中學校
先鋒　飯田　哲（九、初段）
四將　新沼　順雄（四、初段）
三將　中西　勇一（九、初段）
副將　塚原　重造（九、一段）
大將　高須　俊行（九、一段）

臺中商業學校
先鋒　横内　正義（九、一段）
四將　須川　昇（四、二段）
三將　川崎　武雄（九、一段）
副將　岡田　義雄（四、一段）
大將　資木　康（九、一段）

第二班
臺北第二商業學校
先鋒　川崎　勝男（二、一段）
四將　若尾　進（二、一段）
三將　江崎　孝德（二、一段）
副將　森田　浩邦（二、一段）
大將　岡田原常太郎四、初段）
高雄中學校
先鋒　鶴山　道夫（四、一段）
四將　栗谷　武（五、一段）
三將　吉田金三郎（五、一段）
副將　細田　次雄（四、一段）
大將　菅原　實（五、初段）
臺北工業學校
先鋒　小川　金藏（四、初段）
四將　増田　清美（四、初段）
三將　岩間　芝之（五、初段）
副將　高須　俊行（五、初段）
大將　鹽坂　英夫（五、一段）

臺北第二商業學校
先鋒　松尾　幸一（四、一段）
四將　張家　約（四、一段）
三將　楊瑞芳（四、一段）
副將　張義雄（四、一段）
大將　吉永　治文（三、初段）
臺南第一中學校
先鋒　内野　行雄（五、一段）
四將　近江　武司（五、一段）
三將　柏　臣一（五、一段）
副將　高橋　善人（五、一段）
大將　樋口　金錫（五、一段）
新竹中學校
先鋒　大久保正之助（五、一段）
四將　林田　正男（五、一段）
三將　吉岡　良（五、初段）
副將　小島　良（五、初段）
大將　吉岡　甫（五、初段）

臺北第一師範學校
先鋒　國　男（四、初段）
四將　高尾　國男（四、一段）
三將　小畑　武雄（四、一段）
副將　香山　直民（四、一段）
大將　黒澤　正男（四、一段）
臺北第二中學校
先鋒　内藤　武雄（五、一段）
四將　近江　武司（五、一段）
三將　柏　臣一（五、一段）
副將　高橋　善人（五、一段）
大將　樋口　金錫（五、一段）

南部中等學校武道
來る七月九日臺南で

【臺南電話】第二回臺南南部中等學校武道大會は臺南工校友會主催によりかねる七月九日（日）午前十時より臺南武徳殿に於て開會される、柔道、劍道共各校十二名宛出場する筈なるが、一年二名、二年、三年各三名（補各一名）

▲劍士　柔道は各年別として左の順序により柔道劍道共各校十二名宛出場する筈なるが、一年二名、二年、三年各三名（補各一名）

▲申込　柔道劍道共所定の申込書に記載のこと

申込締切　六月二十七日限り

申込先　臺南第一校友會員宛

▲試合方法　柔道は全關西團體試合法による

1、試合は全關西團體試合法による（同學年の場合の對戰試合とす

2、團體相互の試合は同順位者（同學年の場合の對戰試合とす

3、柔道劍道共試合は一本關負とす但し試合時間内（四分）に關負決せざる時は引分とす

4、正選士補缺選手の變更は一回に限り變更する事が出來る

5、一度補缺として代りたる選士は再び出場することを得ず

6、試合中故障に依り試合を繼續することが能はざる者は負者と看做す

7、團體相互の勝負順位

1、全部團體戰

2、全部團體戰中引分は同數多き團體

3、同數同數なる時は負同數少き團體

4、同數負同數共に同數なる時は勝者數多き團體

5、勝者數同數なる時は負者數少き團體

6、前各號團體戰により團體順位決せざる時二校の場合は二校に於ける前試合の中より定めた柔道團體戰に於ける決定せず

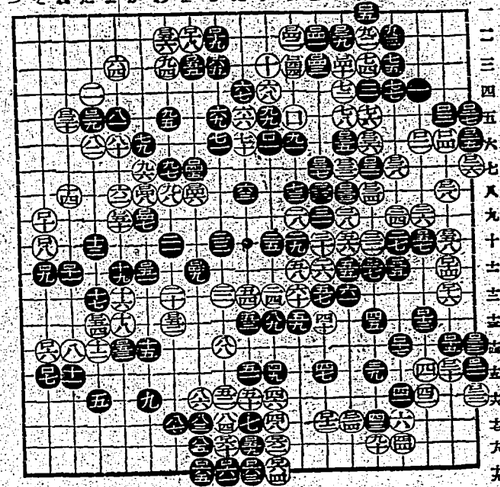
▲審判　審判員は臺北武徳殿に關係ある者の中より定め柔道劍道共二名宛を審判とし柔道劍道共一名宛を副審判とす

▲審判に關しては本規定に定むるもの外大日本武徳會審判規定による

選拔圍碁リーグ戰
（第一、二、三、四局）

本社主催

二段　先番　伴野喜四郎
二段　互先　岡谷彰



大相撲夏場所後記……
双葉安鑿の決戰がヤマ
後半は三銃士の大關爭奪戰

四半の男女川を破り前田、名寄、羽黒、玉ノ海と三役陣立つ島錦、笠置山等が元氣で初日から奮戰、笠置山等が元氣で初日から奮戰、笠置山等が元氣で初日から奮戰

全國のファン諸君の一番「双葉は今度駄けたら、その日に腹を切つて國技館で割腹すると云つてゐるさうだ」「安藝ノ海は今度勝つたらさる處の頭の芽を摘んで貰ふと云つてゐるさうだ」

安藝海、なノ里、前田の三關に續いて双葉、安藝の決戰と云ふ最高潮、後半は羽黒、名寄岩、玉ノ海の大關衝突連三銃士の事實上の優勝決定戰で當々十五日を限つかを見事に全國のファンを期待に滿ち込んだ大相撲春場所も最高潮の後半に入つて來た、今場所の呼物は何んと云つても九日目の結び相撲、双葉山、安藝海の一番であつたらう、今場所の安藝ノ海は前場所の優勝と云ふ名譽と三十圓を賭けた一番も三十圓を賭けた一番も元氣一杯、優勝の座り所の早いスピード相撲で九日目を一番に勝ち星を一つ加へて勝越しの一歩に上り、二日目以來初めて一人旗上げた、名寄岩、羽黒、玉ノ海と三役陣立つ島錦、笠置山等が元氣で初日から奮戰、笠置山等が元氣で初日から奮戰

双葉は安藝海に對し